

いずみのひろば



イエスさまがいちばん！

ヘブライ人への手紙11章1節

「イエスさまがいちばん」というさびかがあります。先生が小学生のころ、教会学校で夏のキャンプに行くバスの中などでもよく歌いました。

♪どんなにさびしいときにも、どんなにかなしいときにも、イエスさまがいちばん
♪たとえそれがどんな場合でも、イエスさまがいちばん
♪だって、イエスさまは神さまだもの

この歌のように、どんなときにもイエスさまがいちばんと確信しているのが私たちの信仰です。

神さまがまず私たちが愛して下さっています。その神さまが私たちが罪から救うため、ひとりごイエスさまをこの世に送って下さいました。私たちの身代わりとして十字架にかかったイエスさまはよみがえられて、今もこれからもずっと、私たちと共にいて、私たちを助けて下さいます。

2024年の日本は恐ろしい大きな地震から始まりました。今も辛い思いをしている方がたくさんいらっしゃいます。平和を願っているのに、世界では戦争が続いているところがあります。なぜ神さまはそんなことをなさるの？本当に神さまっているの？って思ってしまうかもしれません。

それでも、何があっても神さまが私たちが愛して下さっていることは不変です。この世界を作られた神さまが私たちのためにイエスさまを送って下さったように、私たちが愛して下さっていることは間違いないです。神さまの愛は永遠で、希望がなくなることはありません。でも、それは望んでいる事柄で、見えない事実なので、確認するためには信仰が必要です。

人の気持ちは弱いもので、簡単に傷ついたり、苛立ちたりしてしまうかもしれない。それでも信仰を持ち続けることができるのは、神さまの力、聖霊の働きだと思います。心の真ん中にお金や名声ではなくイエスさまがいちばん！という確信があると、私たちは本当に神さまに守られて、強くなれるのです。教会に集う一人一人が信仰を持ち続けることができるようお祈りします。

(おはなし 大井廉之 先生)

いずみのひろば



イエスさまがいちばん！

へブライ人への手紙11章1節

「イエスさまがいちばん」というさびかがあります。先生が小学生のころ、教会学校で夏のキャンプに行くバスの中などでもよく歌いました。

♪どんなにさびしいときにも、どんなにかなしいときにも、イエスさまがいちばん
♪たとえそれがどんな場合でも、イエスさまがいちばん
♪だって、イエスさまは神さまだもの

この歌のように、どんなときにもイエスさまがいちばんと確信しているのが私たちの信仰です。

神さまがまず私たちが愛してくださっています。その神さまが私たちが罪から救うため、ひとりごイエスさまをこの世に送ってくださいました。私たちの身代わりとして十字架にかかったイエスさまはよみがえられて、今もこれからもずっと、私たちと共にいて、私たちを助けてくださいます。

2024年の日本は恐ろしい大きな地震から始まりました。今も辛い思いをしている方がたくさんいらっしゃいます。平和を願っているのに、世界では戦争が続いているところがあります。なぜ神さまはそんなことをなさるの？本当に神さまっているの？って思ってしまうかもしれません。

それでも、何があっても神さまが私たちが愛して下さっていることは不変です。この世界を作られた神さまが私たちのためにイエスさまを送ってくださったように、私たちが愛して下さっていることは間違いないがあります。神さまの愛は永遠で、希望がなくなることはありません。でも、それは望んでいる事柄で、見えない事実なので、確認するためには信仰が必要です。

人の気持ちは弱いもので、簡単に傷ついたり、苛立ちたりしてしまうかもしれない。それでも信仰を持ち続けることができるのは、神さまの力、聖霊の働きだと思います。心の真ん中にお金や名声ではなくイエスさまがいちばん！という確信があると、私たちは本当に神さまに守られて、強くなれるのです。教会に集う一人一人が信仰を持ち続けることができるようお祈りします。

(おはなし 大井廉之 先生)